

がん患者の治療と仕事の両立支援のための企業向け研修用映像教材

がん治療と仕事の両立

～もしも、職場の誰かががんになったら～



2人に1人が、がんになる時代
働く世代にも多くのがん患者がいます
職場の仲間や、あなた自身もがんになるかもしれません
その時、職場では… あなた自身は…
どのようにすればいいのでしょうか？

企業の皆様へ

この教材は、職場のみなさまに、がん患者の治療や生活、そして、それらとの仕事の両立について、実感し、“自分ゴト”として考えていただくために制作しました。ぜひ企業内での研修などに御活用ください。

【東京都のがん対策】

都では、この教材以外にも、がん患者への治療と仕事の両立支援に関する取組を行っています。

東京都がんポータルサイト

検索



登場人物

岡本家



岡本志保(42歳)

乳がん罹患した前原商事の営業担当。一年前に前原商事に転職してきた。正社員雇用。小学生の娘がいる。



岡本大介(43歳)

志保の夫。
大学で同じサークル。



岡本美咲(8歳)

志保の娘。活発な性格で
絵を描くのが好き。

職場



谷口賢治課長(53歳)

志保が務める会社の
上司。営業チームの
管理職。



前原幸夫社長(55歳)

前原商事の2代目社長。
誰でも仕事を続けられる
環境作りを目指している。



八島貞夫部長(56歳)

志保が務める会社の
上司。谷口の直属の
上司。



高橋靖人(43歳)

前原商事の人事担当者。



浅野直人(50歳)

前原商事と契約する
顧問社会保険労務士。



磯田茜(45歳)

前原商事が嘱託する
産業医。



小幡龍之介(40歳)

志保の同僚。



山西奈桜(28歳)

志保の同僚。

医療



橋本照子(45歳)

志保を乳がんと診断する
クリニックの医師。



織田慎太郎(53歳)

志保の主治医。
総合病院の外科医
(乳腺センター)。



滝沢実花(35歳)

総合病院のがん相談支援
センターに勤務する両立
支援コーディネーター。

がん治療と仕事の両立

～もしも、職場の誰かががんになったら～

あらすじ

【1.がんの発見】



前原商事の営業一課へ転職したばかりの岡本志保。自治体のがん検診で「要精密検査」の通知を受け、クリニックへ受診。後日、精密検査の結果、乳がんの診断を受けます。主治医の織田医師や両立支援コーディネーターの滝沢から今後の治療法や、治療と仕事の両立をするためのアドバイスを聞き、今後の方針について考えることに。

【2.職場への報告】



悩みながらも職場へ自身のことを話すことにした志保。「検査や治療で休みが増えること」と「仕事を辞めたくない」という思いを上司へ伝えます。がん相談支援センターで勤務する両立支援コーディネーターの滝沢からアドバイスをもらいながら、今の職場で今後も働いていけるよう勤務形態の改善や今後の働き方について職場も検討してくれることになります。

【3.会社の体制づくり】



志保は今まで話せずにいた同僚の山西と小幡にがんのことを打ち明け、心配するが、応援してくれる2人。その後、無事手術を終え退院した志保は仕事に復帰するも、以前のように働くことができず複雑な思いを抱えます。抗がん剤治療を受けることになり今まで以上に大変なることを踏まえ、谷口課長や人事担当者の高橋、産業医の磯田医師との話し合いを経て、テレワーク勤務や時短勤務の採用、志保の働きやすい環境づくりに協力してくれました。

【4.誰でも働きやすい職場づくり】



会社の風土改善に向け、前原社長が中心に会議をします。志保からのがん告知を受け、職場全体でサポートする雰囲気生まれました。今後も職員がさらに柔軟な働き方をできるように、健全な職場を目指して、会社が変わっていくとします。

【5.エンディング】



会社が志保の雇用と生活を当然のものとして守ってくれた結果、志保は治療と仕事の両立ができるようになりました。



TOKYO
METROPOLITAN
GOVERNMENT

映像制作

株式会社ライズビデオエィティ

制作監修

みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社

シナリオ制作

株式会社オフィス・ミット

シナリオ制作協力（制作協力検討委員会 委員）

伊藤 朋子（声を聴きあう患者たち&ネットワーク「VOL-Net」代表）

遠藤 源樹（順天堂大学医学部衛生学・公衆衛生学講座 非常勤講師）

染谷 由美（東京都社会保険労務士会 がん患者・障がい者等就労支援
特別委員会 委員長）

高清水 幸美（労働衛生コンサルタント事務所PHN代表/
産業保健総合支援センター（神奈川、埼玉）相談員）

橋本 久美子（学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院
相談支援センター 医療連携室 がん相談支援室）

山内 英子（学校法人聖路加国際大学 聖路加国際病院 副院長/
プレストセンター長/乳腺外科部長）

企画・発行

東京都福祉保健局医療政策部医療政策課がん対策担当
〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1
電話 03-5321-1111（代表）